

## 言葉は生きている

9年前に初めての日南での食事会で、「あっさね こっさね」という方言があることを教えてもらいました。最初にコミュニケーションを取るときに方言の話は盛り上がり、地域のことが分かってきます。私は、居住地や職場が延岡→日向→宮崎→日南と代わり、同じ県内にもかかわらずその市町村でないと分からない方言があると分かり、興味深く思ったものでした。

私は西都出身です。他では通じないかも知れないローカルな言い方があります。お礼の挨拶は関西地区ではないのに「ありがとう」ではなく、「おおきに」と言っていました。日南でも「おおきに」を使っている人がいて、懐かしく思いました。

かなり昔の話ですが、友人が「あばのレコードを買ったよ。」と自慢げに話しているのを聞いて、不思議に思ったことがありました。私の語彙の中の「あば」とは「新しい」ものを意味する言葉だったからです。例えば「あばの靴を買ってもらった。」というのは、「新しい靴を買ってもらった。」という意味で、当時は中古のレコードを販売する店はなかったのも、なんでわざわざ「新しいレコード」なんて言うのかと不思議に思っていたのです。私が **ABBA** を知らなかっただけなのですが、知識が無いと言うことは恥ずかしいことです。同じように、思い込みや特定の状況の下で勘違いをすることもありませんか、皆さんはどうですか。

大掃除をしているときに「そうじの指導を受けに行ってもいいですか。」とか、教科のことで頭の中がいつぱいの時に、「きょうかは用意できていますか？」などと聞かれたことがありました。卒業式の前の日であるという場面認識がしっかりできていたら、そうじは送辞で、きょうかは胸花と捉えられるはずなのですが、恥ずかしい返事をしてしまいました。漢字で書けば取り違いも少なく、テレビに頻繁に字幕が出てくるのは頷けます。日本語も本当に難しいです。

また、宮崎は無アクセント地域です。アクセントがしっかりした地域の人からは、話が分かりづらいということをよく聞きます。例えば橋と箸、一語と苺のアクセントは同じです。意味を取り違えないために、前後の語彙や文脈で、どの言葉なのかを理解しているのだそうです。発音も言葉話す大事な要素で、これまでばらばらだった日本人の発音を標準化するために「文部省唱歌」が使われたのはおもしろいことだと思います。

言葉の意味や使い方を調べるときに国語辞書を頼りにします。今年、辞書から消えた言葉があるというニュースが話題になりました。「コギャル」、「着メロ」、「企業戦士」等々、我々に取っては流行語にもなったなつかしい言葉です。あまり使われなくなったからとの理由のようです。言葉も流行り廃りがあるんですね。

最後に、問①「あの人はきれいな人物だ」はどのような人物を思い浮かべますか。問②「情けは人のためならず」はどんな意味ですか。

2年生の図書貸出冊数が少なかったのが年間の反省として挙がっていました。多くの文章を見ること、先人達の方法を知ることは大事なことだと思います。もちろん作文や小論を書く上でも、面接を受ける際にも、3年への準備の期間を利用して、十分に時間を取って本を読むのはいかがでしょうか。

## 土曜日・日曜日、不要不急の外出は控えましょう。

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
	21	月	春分の日			
	22	火	終業日	×	×	8:20 着席
	23	水	課外④まで(1,2年)			8:20 着席
	24	木	課外④まで(1,2年)			8:20 着席
	25	金	入学予定者オリエンテーション			
	26	土				
	27	日				
	28	月				
	29	火	離任式			8:20 着席
	30	水				
	31	木				

※朝課外のある日は7時25分校門通過、朝課外のない日は8時15分校門通過を厳守しましょう